

民記録、税、福祉など)があることなど、そもそもテレワークに適さない業務もあります。

他にも、職員間のコミュニケーション手段について、情報伝達の即時性や効率性に課題があります。これについては、円滑な情報伝達を図るためにリモート会議システムを導入し、2020年6月から使用可能としました。更に、いつでもコミュニケーションができるビジネスチャットも同年7月に運用開始予定です。

◆ 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の対応に伴う交代制勤務において、感染拡大防止策としてテレワークを活用しました。対象となる職員の通勤時間等の条件を図表6のとおり緩和したこともあり、1日約350人の職員が利用しました。

▼図表6 新型コロナウイルス感染症の対応に伴い緩和した条件

原則	緩和後
1 すべての職員(再任用職員、新規採用職員、非常勤職員を除く)	すべての職員
2 自宅から勤務先までの通勤時間が片道45分以上または最寄り駅から勤務先までの直線距離が8kmを超える	通勤時間等の条件を廃止
3 月2回までの実施回数の上限	所属長の認める範囲で上限を廃止

<出典>町田市提供資料をもとに筆者作成

◆ 今後の対応

この取組は、2020年6月末時点での状況です。テレワークは始まったばかりであり、今後は取組を続けていく上で、テレワークの回数制限や自宅以外でのテレワークの可能性、通信費の負担のあり方や勤怠管理方法など、検討を続けていきます。

3. 慣習や風土を変える「新しい働き方」

(1) スマートビズ(熊本県芦北町)

次に、芦北町のスマートビズについてご紹介します。スマートビズとは、**S**oft(ソフト)**M**ake(メイク)**A**shikita(芦北)**R**elax(リラックス)**T**ool(ツール)**B**IZ(ビジネス)の頭文字を取った造語で、通年でのノーネクタイ勤務を指します。

▼図表7 町広報で周知したロゴ



<出典>広報あしきた(令和元年10月号)

◆ 取組の経緯

クールビズ以外の期間については、社会人の常識という観点からネクタイを着用することが暗黙の了解になっていました。しかし、ネクタイをしていると、町民の方から堅苦しく見えたり、職員が遠い存在に感じられたりすることが課題としてありました。

そこで芦北町では、町民の方が職員に対して親近感を感じ、気軽に話しやすい雰囲気を作るため、2019年11月から通年でのノーネクタイを実施しています。

◆ 基本的スタンス

ノーネクタイの職員とネクタイを着用する職員が混在すると、職員間の統一感がないため、「ネクタイをしてもしなくてもいい」ではなく、「基本は着用しない」という方向で統一しました。

また、服装が緩むことがないよう、スーツスタイルからネクタイのみを外すこととし、シャツは必ず着用、上着はジャケットを基本とし、作業着や揃いのジャンパー等に限定しました。

◆ ネクタイ着用基準

しかし、式典や行事、他団体の会議など、ネクタイ着用が適切と考えられるケースもあります。そこで、職員がネクタイを着用するかどうか混乱しないよう、図表8のとおりネクタイ着用基準を設けました。

▼図表8 ネクタイ着用基準(一部抜粋)

区分	ケース	ネクタイ
町主催	委員等を委嘱する辞令交付式	要
	講師を招く講演会	要
	町長への表敬訪問の同席職員	不要
	協定等調印式	要
	成人式	要
	金婚夫婦表彰式	不要
	内部の辞令交付式	不要
他団体主催	議会本会議	不要
	...	
	県庁等の説明会	不要
	視察研修	要
	入学式・卒業式等	要
	各種スポーツ大会	不要
	道路開通式等テープカット	要
知事等への表敬訪問の随員	要	
...		

<出典>芦北町提供の資料をもとに筆者作成

◆ 職員や議会、住民の声

導入の狙いとして、職員が動きやすく、楽な格好で仕事することにより、リラックスしてストレスも少なく、色々な発想が生まれ、生産性が高くなると考えられていました。実際に導入したところ、職員からは「準備が楽である」「動きやすい」といった声があり、効果が始まっています。

また、0円予算での事業ということもあり、議会や住民からは特に反対の声もなく、スムーズに導入ができています。

(2) 昼寝で健康チャージ：#PowerNap(福岡県福岡市)

最後に、福岡市の「#PowerNap(パワーナップ)」についてご紹介します。福岡市では、人生100年時代の持続可能な社会をつくるプロジェクト『福岡100』の一つとして、2019年5月から睡眠に関する新たなチャレンジ「#PowerNap」を始めています。

▼ #PowerNapのイメージ画像



<出典> #PowerNap公式HP (https://powernap.fukuoka.jp/ (2020年6月18日確認))

◆ PowerNapとは?

「ナップ(短時間の昼寝)」と「パワーアップ」を合わせた造語で、短時間の昼寝のことをいいます。

◆ 実施内容

西川株式会社との共同事業として以下の4つの事業を展開しました。

▼図表9 実証事業の内容

1	市内の企業に対し、「昼寝」を「チャージ」として捉え、昼の休憩時間などを活用した昼寝(PowerNap)を従業員に推奨するよう呼びかけ
2	参加企業に対して、西川株式会社提供のオリジナルブランケットを配布し、従業員がPowerNapしやすい環境づくりを応援
3	参加企業の従業員などに対して、西川株式会社による「ねむりのセミナー」や出張相談による睡眠啓発を実施
4	事業実施前後に参加企業の従業員にアンケートを行い、休養感や意識の変化を調査

<出典> #PowerNap記者会見資料をもとに筆者作成

◆ 取組の経緯

心身の疲労の回復と充実した人生につながる「休養」は、こころとからだの健康を保つために重要です。

しかし、福岡市が「健康日本21福岡市計画」で設定している「睡眠で休養が十分とれていない人の割合の減少」は、2016年度の間評価時点で、男女とも目標値に届かず悪化傾向にありました。

福岡市では、睡眠に関する普及啓発など様々な取組を行っていますが、計画に掲げる指標の